

「肝臓疾患患者の看護」試験問題

成人看護学方法論 4

肝臓疾患患者の看護 (肝炎・肝硬変) テスト (内田先生)

学籍番号 ()

- 1 以下の文について () に当てはまる言葉を以下の選択肢から選び解答せよ。
- 1) 肝炎ウイルスにはA型からE型の5種類があり、経過による分離で (①) 肝炎と (②) 肝炎に分けられる
- 2) A型肝炎は主に (③) や食べ物を通して感染する、経口・ (④) 感染である
- 3) E型肝炎は、急性肝炎を発症し、慢性化はしない。治療は (⑤) である
- 4) B型肝炎は、ワクチンによる予防が (⑥) である。感染予防対策として手洗いの (⑦)、血液汚染事故の (⑧) と消毒が看護として重要である
- 5) C型肝炎は、70%は感染が持続し、 (⑨) を発症する。 (⑩) 年の経過を経て肝硬変に進行し、 (⑪) を発症する
- 6) 急性肝炎の看護としては (⑫) が大切である。病氣に対する (⑬) や安静の必要性についての認識をアセスメントする
- 7) 肝臓がんの看護アセスメントとして、全身倦怠感や発熱、疼痛腹部症状として (⑭) 腹水・ (⑮) ・腹痛・腫瘍触知の観察ある

選択肢

肝炎・急性・慢性・血液・水・嘔・糞便・手術療法・化学療法・腹部膨満感
腹水・腹痛・黄疸・掻痒感・対症療法・抗原・抗体・可能・不可能・励行
母子感染・予防・輸血・性行為・急性肝炎・肝硬変・肝がん・慢性肝炎・10~20
20~30・安静・軽い運動・理解・説明・認識・減少・増加

2 肝硬変による肝性脳症で生じるのはどれか。2つ選べ。

- 1 浮腫
2 異常行動
3 くも状血管腫
4 羽ばたき振戦
5 メドウーサの頭

3 以下の例文を読み、当てはまる疾患を1つ・看護を2つ選べ。
倦怠感・食欲不振を主訴に受診し、急性肝炎と診断された。各種検査の結果、2か月前に家族と一緒に摂取した猪肉であると判明。感染したのは当該患者のみであり、生肉を摂取したことが原因と考えられた。

- 1 B型肝炎
2 C型肝炎
3 E型肝炎
4 軽い運動の推進
5 ベッド上安静
6 常食の摂取と次亜塩素酸ナトリウム溶液での環境整備
7 低たんぱく食の摂取と次亜塩素酸ナトリウム溶液での環境整備

①	急性	②	慢性	③	水
④	糞便	⑤	肝炎様徴	⑥	可能
⑦	経口	⑧	手術	⑨	慢性肝炎
⑩	20~30	⑪	肝がん	⑫	安静
⑬	理解	⑭	腹部膨満感	⑮	発熱

2 各2点

1. 4 2. 4

3 各2点

疾患 看護 3 5. 7